

# プロの手技を味わう! エステサロンで、色白美人に

エステ  
追究する

プロの技が活きる  
「美白」を「伝授」

透明感のある肌を維持するためには、普段からのスキンケアが一番重要。でも、時にはプロの手でゆだねてみては? エステサロンには、色白美人になる技術や知恵が詰まっています。そんなプロならではの美白ケアについて、東京・表参道のエステサロン「ラ・ボーテ・アクアポ」の森本チヅ子さんに話を伺いました。

## お客さまが求める美白スタイル

今や紫外線によって起こる肌や体への害については、多くの方が知っています。そのため、紫外線ケアとしての「美白」意識は非常に高くなっています。

けれども、「美白」に対して求めるものについては個人差があるようです。

実際、お客さまに「美白のイメージ」を聞いてみると、「透明感がある」「シミ、そばかすがない」「キメが細かいこと」「もちもちふっくらしている肌」などという答えが返ってきました。中でも多かったのが「色ムラ(肌の色味が不均一な状態)がない肌」です。シミやそばかすといった肌トラブルはもちろん、肌の色やツヤ、質感なども含めて「美白」と思っているようです。



## Check

### エステで行う シミ・くすみレベルのチェック

美白といった場合、肌がくすんでいる(肌が曇って、透明感のない状態)のものから、表面にシミやそばかすが覆われているものまで様々。レベルによって、ケアをするポイントが変わってきます。

**低**

**くすみタイプ**

- 本来は色白だった。
- 目立ったシミはないが、肌も乾燥気味。
- 最近顔を見ると肌がくすんでいるような気がする。

リンパマッサージでくすみ解消のケアを!

**潜在的なシミタイプ**

- 外回りの仕事をしている。
- お風呂よりシャワーが多い。
- 目立ったシミは見当たらないが、境界線がはっきりしたシミがうっすら見える。

美白有効成分によるパックを中心に!

**本格的なシミタイプ**

- 境界線がはっきりしたシミがある。
- 煙草を吸っているorお酒の量が多い。
- 普段運動は全くしていない。
- 冷え症だ。

シミへの集中ケアと代謝促進を徹底的に!

**高**

その点から考えると、エステサロンでの「美白ケア」は、肌を起こったトラブルを解消することだけを目的とせず、一人ひとりの肌質や環境などを総合的にとらえながら、肌トラブルを回避できる健康的な肌づくりに行っていくことといえるでしょう。そのためにもプロならではの技術が用意されているのです。

## Beauty Style

透明感のある肌を創るポイントは「角質ケア」と「リンパマッサージ」

エステサロンで行っている美白ケアとしては、シミやくすみを取り除きながら、健康的な肌に戻していくことです。

「美白ケア」の場合、医療機関であれば、レーザーや薬剤を利用して「シミを消す」治療を中心に行っていると思いますが、エステでは「即効的な治療行為」を行うことはできません。しかしながら、シミができていく肌づくりに、行うことは可能です。

そのため、どのようなエステサロンにおいても「美白ケア」の中心技術として「角質ケア」と「リンパマッサージ」が行われています。

お客さまの声にもあった「色ムラ」も肌の新陳代謝が衰えていたり、角質の状態が不均等であったりすることが原因です。角質を正常な状態に整えることで、肌の正しい新陳代謝を促し、美容成分を深部まで届けることができるようになるわけです。



実際、エステサロンのメニューを見て、美白ケアとしてパックとリンパマッサージを組み合わせて行われているケースが多いようです。特に、「石膏パック+ビタミンC誘導体パック」や「持続型ビタミンCパック+ラップ」などのWパックは美白効果が高く、人気の高い技術となっています。

石膏にしてもラップにしても、肌に密着して皮膚温(皮膚表面の温度)を上昇させることで、美白に有効な成分の浸透が高まりやすくなり、皮膚温が上昇することで血流が促進され、肌のくすみや角質が剥がれやすくなります。

リンパマッサージも同様です。リンパの流れを改善させることで、老廃物の排出を促し、体液の循環を改善します。シミやくすみなどの間隙も肌の新陳代謝が乱れていることから



ラ・ボーテ・アクアポ  
森本 チヅ子 さん

東京・表参道で美を追求する女性たちのサポートを行っている。日本エステティック協会認定TEA、CIDESO国際エステティシャンなど、多数の資格を有している。

### ドライ肌 & 敏感肌

乾燥肌の人には、保湿効果の高い基本化粧品を選びましょう。乾燥肌は、皮膚を覆うバリアが薄く、角質を剥がすことがポイント。角質を剥がすことで、乾燥や炎症を引き起こしてしまいます。コットンを使う角質ケアローションやスクラブは刺激を与えるので、注意が必要です。

Dry

### オイリードライ肌

混合肌は、Tゾーンがオイリーで、Uゾーンがドライというタイプです。洗顔時は、Uゾーンをかきつけないようなアイテムを使い、汚れをしっかり落とします。化粧水はTゾーンがべたつかないように気をつけながら、全体にうるおいをたっぷり与えます。乳液やクリームは、Tゾーンには少なめにします。

Oily-Dry

### オイリー肌

脂性肌は、うるおいをしっかりと与えながら、過剰な皮脂をしっかりと取ることが基本です。オイル分を含んだ乳液やクリームは、ニキビのもとになってしまうので、オイルフリーのアイテムがおススメです。べたつきがひどい場合は、オイルフリーの乳液やクリームでケアしましょう。

Oily

### ノーマル肌

普通肌は、水分と皮脂のバランスがとれてトラブルが少なく、美白ケアも積極的に行えます。いろいろなアイテムを使いやすくなり、お手入れをおろそかにしたりせず、しっかりと基本ケアを行えば、良いコンディションで美白効果が得られます。肌の状態に合わせて、基本化粧品の使用量を調節することがポイントです。

Normal

### エステティシャンおすすめの

## お肌別 自宅で行う 美白ケア法

シミが気になっている方、間違った洗顔やクレンジングをいませんか? ホームケアでは適切な化粧品の使用がとても大切です。